

令和6年度「土砂災害防止に関する絵画・作文」作文中学生の部 優秀賞
(事務次官賞)

「 みんなの命を守って砂防ダム 」

北海道 羽幌町立焼尻中学校 3年 芥藤 和^{さいとう なごむ}

僕の住む焼尻島には土砂災害警戒区域が数多くあります。焼尻小中学校のすぐ近くにもあります。以前までは、土砂災害などの大雨による被害を報道などで目にしても、他人事のように思っていました。しかし、2年前に大雨の影響で、隣の天売島で大きな土砂災害が起きました。焼尻島に被害がありませんでしたが、それ以降、土砂災害について身近な脅威に感じるようになりました。

ある日、社会の授業で、土砂災害の防止対策について学びました。社会の授業で学習するまで、土砂災害に関する事で知っていたのは、大雨や豪雨が近年増えているという事くらいでした。しかし授業を通して、砂防ダムというものを知りました。焼尻島にはたくさんダムがありますが、砂防ダムは1つしかないということや、砂防ダムでなかったら、流木などを受けきることができないという事も分かりました。焼尻島には土砂災害警戒区域が数多くあるのに、砂防ダムが1つしかないのはとても危険だと思いました。今は大丈夫でも今後、大雨が降った時に被害が大きくなるのではないかと思うようになり、少し不安になりました。

今、砂防ダムができている場所は民家が多い所です。そこに砂防ダムができたことで、多くの人は安心できると思いますが、焼尻小中学校の近辺の川には、砂防ダムはありません。今は未使用の棟ですが、校舎の一部分は土砂災害警戒区域に指定されているので、大規模の土砂災害があった時には、焼尻小中学校にも被害が出る可能性は高いと思います。

このような事態から避けるためには、学校近くの川に砂防ダムを建設する必要があります。しかし、砂防ダムを1つ建てるためには、平均で14億円もかかってしまいます。ここは離島なので、運送料などを考慮すると、他の地域よりもさらに高額になると思います。

島内すべての川に建設するのは大金が必要になるので、ほぼ不可能です。しかし、何かしらの対策を取らないと、多くの死傷者が出てしまう可能性が高くなります。

以前、台風による大雨の予報が出た時は、島内放送で役場の人が注意を呼び掛けていました。焼尻島には土砂災害警戒区域外に、研修センターという公共施設があります。先ほどのような島内放送が流れた時に不安な島民の人がいたら、島民の人はそこへ一時的に避難できます。お年寄りも役場の車で避難できます。さらに、避難先でも食料はしっかりと出してもらえるので、お年寄りの人も安心して避難することができます。

このように、天気予報や報道を見て事前に避難を進めることは、命を守るために必要な対策です。しかし、そのような公共施設は島の東側にしかありません。東側のほうで先に被害があったら西側にいる人たちは避難することができません。このようなことが起きた時のための対策を2つ考えました。

1つ目は、研修センターのような公共施設を島の西側にも作ることです。そうすると東側のほうで先に被害があっても避難することができます。そうすると高齢者の方も避難しやすくなると思います。

2つ目は学校の近くの川に砂防ダムを造ることです。焼尻小中学校は避難場所に指定されていますが、近くが土砂災害警戒区域なので避難するのはとても危険です。学校近くの川に砂防ダムができたなら、安全に焼尻小中学校に避難することができます。

僕たちの身の回りには、危険がたくさん潜んでいます。焼尻島は、その中でも土砂災害が起きる可能性は高いので、今自分ができることを早めに対策したいです。

僕はまだ、土砂災害などで被災したことはありませんが、このまま被災をしないために、家族であらかじめ、避難場所などの確認を済ませておきたいと思います。

僕は将来もこの焼尻島に住もうと思っています。今自分ができることは少ないですが、土砂災害の危険性を島民の方々に知らせて、防災意識の高い島にしていきたいです。そして、砂防ダム

や避難場所をつくってもらえるように、役場などに訴えていって、少しでも多くの方が安心して暮らせる焼尻島をつくっていきたいと思います。